

# 着衣女性×露出男性

## 勃起見せつけ体験集



~~破滅乱淫~~  
~~オーガスム~~

## もくじ

ブラジリアンワックスのVIO脱毛で合法的に勃起を露出して、  
ふたりがかりの研修施術ではたまらず射精を…… 6

（30代・会社員）

混浴露天風呂で着衣や水着の人たちに囲まれ、ひとり全裸で  
ペニスもさらし、近くの女の子に勃起を見せつけ…… 27

（40代・自営業）

美術ヌードモデルで女子大生と女子高生に全裸をさらして

勃起を見せつけ、最後はこっそりしごいて射精まで…… 46

(20代・フリーター)

極薄水着からくつきり勃起の形状まで浮き上がらせた状態で

プールサイドを練り歩き、女子学生のグループに…… 63

(30代・スポーツインストラクター)

入院中、ハプニングで勃起を見られて快感をおぼえ、

今度はみずから朝勃ちを装って看護師に勃起を見せつけ…… 82

(40代・塾講師)

学生時代、女子たちからのいじめで勃起させられて笑われ、  
ついにはパンツまで下ろされてオナニーさせられ……  
102

(30代・公務員)

かわいい女性保険外交員を全裸で家に迎え入れ、  
契約をちらつかせて目のまえでオナニーを見せつけ、そして……  
121

(20代・居酒屋店員)

スーパー銭湯で男湯に入ってきた女性スタッフに勃起を見せつけ、  
ついには洗うふりをしてしごくところまで……  
133

(50代・タクシー乗務員)

庭でオナニーをしているのを近所の女の子たちが

覗いていることに気づき、隠しカメラでその反応を撮影して……

142

(40代・無職)

公園や店舗の男女兼用トイレで小便器のまえに立って待機し、  
やってきた女性たちに勃起をわざと見せつけて……

162

(30代・ITエンジニア)

ブラジリアンワックスのVIO脱毛で合法的に勃起を露出して、  
ふたりがかりの研修施術ではたまらず射精を……

(30代・会社員)

合法的にペニスを女性に見てもらうために、ブラジリアンワックス脱毛に  
通っています。もちろん部位はVIOです。

いまはいろいろなサロンへ行って、ほとんど一回きりの相手に露出するよ  
うにしていますが、以前は月にいちどのペースで同じサロンに通っていまし

た。はじめて行ったのもそのサロンで、いわば露出童貞を卒業させてもらったところだったので、思い入れも強かったんですね。

そこは小嶺さんという、三〇代前半くらいの女性がひとりで経営されているサロンでした。

小嶺さんはそんなに口数が多いほうじゃないんですけど、まじめで、丁寧で、ちょっと照れたような笑顔が魅力的な美人でした。色白で、小柄で、華奢で、もろに好みのタイプでもありました。はじめて行くまえにネットに出していた写真は見てたんですけど、実物のほうがぜんぜんかわいかったですね。

初回からペニスを見せつけるために行ったわけですけど、最初から勃起さ

せてたんじゃ不自然だと思って、出かける直前にいちどオナニーで射精してから、お店へ行きました。

下半身裸でベッドに横になったときは、興奮でくらくらしちゃいましたね。初対面の女性のまえで、自分だけ下着まで脱いでペニスをさらして、それでも合法だっていうんですから、ありがたいものですよ。

とはいえ、はじめのうちは緊張もそうだし、ワックスを塗ってベリツと剥がすときなんかはめちゃうくちゃ痛いので、しばらくは露出の快感を味わうどころじゃありませんでした。

でも、だんだん痛み慣れてくると、やっと自分の置かれている状況を冷



静にとらえられるようになってきました。

ワックスを塗るために、小嶺さんの手の甲でペニスの位置をしきりに変えられて、ときにはそっと指先でつままれて……まあゴム手袋越しなのでそこは残念でしたけど、それでもふつうにセックスするときだって、そんなに執拗には相手にペニスをさわられることはありませんからね。

それになにより、小嶺さんが真剣な目でぼくのペニスを見つめつづけているのを見たら、もうダメでした。

小嶺さんの視線を受けているなかで、ペニスがむくむくと大きくなっていて、あつというまにフル勃起してしまいました。

もちろんプロとしては慣れたものなんでしょう、小嶺さんはまったく動揺もせず、淡々と施術をつづけるばかりです。だけど、その事務的な感じがまたよくって、最後までずっと勃起がおさまることはありませんでした。

施術が終わると小嶺さんは先に部屋を出て、こちら服を着てから出ていくわけですけど、そんなわけで毎回、最後まで勃起っぱなしで限界になりました。ましたから、いつも必ずその場でオナニーしてから帰るようにしてました。極限まで興奮が高まっているので、毎度あつという間に射精しちゃって、あれは何回繰り返しても最高に気持ちよかったですね。

はじめのころは施術開始時点から勃起しているのはあからさますぎるだろ

うと思って、家を出るまえに毎度オナニーしていったん鎮めてから行つてたんですけど、いつもけつきよくはバキバキに勃起させて先走りを垂れ流してるところまで見られちゃうわけですから、そのうちに気にならなくなつてきて、オナニーしてから行くのはやめにしました。

そうすると案の定、小嶺さんのまえでペニスをさらしただけでフル勃起してしまって、さすがに恥ずかしいと思う反面、それがまた、たまらなく気持ちよくもあつて。

ただ、オナニーをせずに行くと刺激が強すぎて、終盤になるとうっかりそのままふれずに射精してしまいそうになることもたびたびでした。

しごいたりするわけではないので実際にはそうかんたんに射精することなんてないんですけど、それでもガチガチに勃起した状態でペニスの付け根のおへそ側なんかを施術するときは、ぐっと勃起を垂直に立てないとうまくいきないので、亀頭をつまんでペニスを持ち上げられたりするんです。

そうするともう、ビクンビクン勃起が震えて、ひどいときには先走りがあるからだら垂れちゃったりもして。小嶺さんの指の感触に感じまくって、ほとんどイキそうになりながら、それでもイケなくて、もどかしい地獄のような快感に悶えてました。

小嶺さんのまえでは、じつはいちどだけ、射精したことがあります。

その日はサロンに行く、新しいスタッフの研修をしたいから、きょうは新人もいっしょに施術していいか、ということをお嶺さんに言われたので、それならふたりの女性に見てもらえるのか、なんて内心喜びつつ、快諾しました。

新人さんは森見さんといって、手順は勉強済みだけど、実際に施術するのはこれがはじめてとのことでした。

最初のうちはお嶺さんがいつものように施術して、それを見て要領がつかめてきたら森見さんがやってみる、という流れで進めるのだと説明を受けました。

このときも、もちろん最初から勃起してました。なにしろ小嶺さんだけじゃなくて、施術初体験だという森見さんもいたんです。同時にふたりの女性にペニスを見られて、さわってもらえるわけですから、もう期待しかありません。

ぼくがギンギンに勃起しているのを見て、はじめ森見さんはあきらかに動揺したようすでした。目が落ち着きなく泳いで、いったん見ないようにしようとするんですけど、仕事なんだからと思いついたふうには真剣な顔で勃起を見つめ、また少しすると恥ずかしそうに目をそらしかけて、はっとしたようにあわてて視線を戻して……というのを何度となく繰り返すので、そのあま

りにういういしい反応にぞくぞくしっぱなしでした。

しかも小嶺さんが冷静に、

「大きくなっちゃうお客さまもいらっしやるけど、珍しいことじゃないし、むしろ施術しやすくなったりすることもあるから、変に遠慮したりしないで、自然に対応してあげてね」

なんて森見さんに言うものですから、森見さんだけじゃなく、ぼくも妙に強く意識しちゃって、よけいに勃起をビクビクさせてました。

三人してはつきりと勃起を意識しながら、その日の施術は進んでいきました。

小嶺さんはもちろん慣れたもので、ぼくの勃起を巧みに手の甲で上下左右に傾けながらワックスを塗って、陰毛を抜いていきました。

最初は恥ずかしそうだった森見さんも、しばらくすると目つきが変わってきて、真剣にそのようすを観察していました。勃起を見て恥ずかしがる森見さんもかわいかったですけど、そうやって事務的に見られるほうが、ぼくとしては逆に気持ちよかったですよね。まじめな場面でひとり興奮して勃起してる、っていうのを強く実感したりもできて。

半分くらい終えたところで、いよいよ森見さんが施術に初挑戦することになりました。



「はじめてなので、もし痛かったりしたら教えてください。よろしくお願  
いします」

なんて丁寧<sup>に</sup>頭を下げて、おっかなびっくりといった感じで、森見さんは  
ぼくの股間に手を伸ばしてきました。

ところが、ワックスを塗るのにペニスの角度を変えようとするんですけど、  
小嶺さんみたくスムーズに手の甲で倒したりするのが、うまくできないんで  
す。

たとえば竿を手の甲で横に倒したかと思うと、勃起しているせいですぐに  
グンと垂直に戻ってしまって、またそれをあわてて横に倒して……というの

を何度も繰り返すものだから、そのたびに刺激を受けて、こっちはどんどん気持ちよくなってきた。ちやって。

「そういうときはこうやってきちんと押さえたほうがいいよ」

泣きそうな顔の森見さんに小嶺さんはやさしく言うと、横から手を伸ばしてぼくのペニスの中ほどをそつとにぎりました。

そんなふうには手のひらで包まれたことなんてなかったもので、それでまたビクビクと反応させちやって……。

「ここまで硬くなっちゃってる場合、慣れないうちはしっかりとにぎらないと動かしづらいから。ほら、やってみて」

小嶺さんがぼくのペニスをにぎったまま、森見さんがワックスを塗り、脱毛していきました。

はじめて小嶺さんに勃起をにぎられた興奮で、彼女の手のひらのなかで激しくペニスが脈打つたび、森見さんのために動かさないようにつてきゅつと指に力がこめられて、もうたまりませんでしたね。

森見さんが施術した箇所を小嶺さんがチェックして、きれいに脱毛できたことを褒められると、森見さんはうれしそうに小嶺さんとぼくにお礼を言って、今度はみずからぼくのペニスをしっかりとにぎってきました。

続きは製品版でお楽しみください。

↓試し読みはもう1話分収録しています！

混浴露天風呂で着衣や水着の人たちに囲まれ、

ひとり全裸でペニスもさらし、近くの女の子に勃起を見せつけ……

(40代・自営業)

去年の八月のことです。

会社のお盆休みを利用して、ひとりで混浴露天風呂へ出かけることにしたんです。

向かったのは家から電車とバスを乗り継いで四時間ほどのところにある某

温泉でした。ここは川をせき止めてつくられた温泉で、ゆうに数十人はつかれるほどの広さが魅力で、緑豊かな自然の風景に囲まれて思いっきり解放感を楽しむことのできる人気スポットです。

とくに夏休みともなると、家族連れや若者グループなんかの観光客でにぎわうんですけども、だからといって若い女性の裸が楽しめる、というわけではなくて、ほとんどの人は水着着用で入浴してるというのが現実です。もちろん裸で入ることもできるんですけど、夜間やオフシーズンならともかく、お盆休みなんてとくべつ混雑する時期の日中に全裸で入浴するような人間は露出趣味のある人以外、まずいませんね。だからもう、温泉というよりは温

水プールといったほうが近いような状態になってるわけです。

私はといえば、根っからの露出マニアですからね。CFNMも大好きですし、こんなおいしいシチュエーション、天国以外のなんでもないですよ。もちろん、そのためにここへ出かけていったんです。

温泉に到着したのはお昼すぎごろでした。予想どおり、そして期待どおりに温泉は観光客であふれてて、誰もが水着だったり、着衣のまま足だけをつけてたりという具合で。純粹な入浴客もいるにはいたんですけど、たぶん地元の人なんでしょうね、隅のほうでひっそり二、三人、おじいちゃんがのんびりつかってる程度でした。

ここで全裸になるのか、と考ただけで股間が硬くなりそうでしたけど、最初から勃起状態をさらすわけにもいかないですからね。いったんなにも考えないようにして気を落ち着けてから、ゆっくりと川辺で衣服を脱ぎはじめました。

更衣室もあつたんですけど、温泉を申し訳程度に道路から隠してる衝立があつて、ほとんどの人がそこで着替えを済ませてたので、私もそこで服を脱ぐことにしたんです。もつともほかの人の場合、下に水着を着てたりする人が多いから、それでも問題ないわけですけど、私だけは違いました。周囲に大勢の人がいるのに、そこで全裸になるんです。



Tシャツを脱いで、ジーパンを脱ぐと、身に着けているのはもうボクサーパンツだけです。鼓動が速くなってくるのを感じながら、私はそこで思いついて、身体の向きを反転させました。衝立のほうではなく、温泉のほうを向いたんです。そうして、水着や普段着姿のたくさんの人たちのまえで、するりと下着を下ろしました。

白昼の陽射しのもとで、不特定多数の男女のまえで裸を、そしてペニスをさらけだす開放感が、もうたまりませんでした。露出狂ながら、さすがにここまで状況だと羞恥もけっこうあるんですけど、まあそれもやっぱり快感ですよ。

急激に下腹部に血液が集まってくるのを感じながら、私は股間を隠すこともせず、ぶらぶらとイチモツを揺らして温泉へと歩いていきました。

半勃ちになった私のペニスを見てぎよっとする中年夫婦だったり、にやにや笑ってる若者グループだったり、咎めるような視線を寄越してくる子連れの親御さんだったり……いろんな種類の視線を受けながら、私は完全に勃起するすんでのところでお湯に身体を沈めました。

もちろんフル勃起状態を見せたいのはやまやまだし、あとでそれとなく見せるつもりでもいきましたけど、さすがにまだ早いだろうと思いました。来たばかりで完全に勃起なんてしてたら、さすがにそういう目的で来たことが

見え見えになっちゃいますからね。いや、全裸でまえを隠しもしないんだから、バレバレっちゃバレバレなんですけども。

私はリラックスして温泉を楽しんでるふうを装いつつ、周囲をそれとなく観察しました。ペニスを見せたいなと思えるような相手が、近くにちらほらと見て取れました。でも、親子連れもそばにいたので、「子どもがいるので隠してもらえませんか」なんて言われてしまったら無視するわけにもいかなないし、彼らが立ち去るまではじっとがまんして待機していました。

しばらく待っているうちに、せっかく勃起していた股間も、お湯のなかで完全にしぼみきってしまいました。興奮が落ち着いてきたというのもありま

したけど、なにより真夏ですからね。暑くてかなわないわけです。

限界を感じて、いったんお湯から上がろうかなと思ったときでした。

近くにいた親子連れが離れていって、待っていたチャンスがついに到来したんです。素早く周囲を見回すと、すぐそばに中学生くらいの女の子が三人、服を着たまま岩場に腰かけて、足だけをお湯に入れていました。垢抜けた感じでしたから、都会から旅行にでも来ていた子たちだったんでしょう。みんなピチピチのショートパンツを穿いていて、白い生脚がまぶしくて。

たまらなくなつて私はすぐに、でもゆっくりと立ち上がると、こちらも岩場に腰かけました。女の子たちは私の右手にいたので、左足を立てて、左方

向からは股間が見えないように隠しました。

距離としては二メートルくらいだったと思います。すっかり小さくなっていたペニスに、あからさまに彼女たちの視線が注がれているのを感じました。ちらりと盗み見ると、三人ともにやにや笑いを浮かべて、なにやらささやき合ってもいました。

見られていると意識したとたん、急速にペニスに力がみなぎって、ビクン、ビクンと脈を打ちながらゆっくりと勃起していきました。

それを見ながら女の子たちはひそひそと声を交わしたり、ときどき笑い声をあげて小突き合ったりしてるんです。もうたまりませんでした。

着衣姿の女の子たちに全裸をさらしながらペニスが完全に勃起する一部始終を間近に観察されて、もうそれだけで爆発しそうなほど興奮していました。

同じ年頃の子に見せたことは何回もありましたけど、だいたいすぐに離れていっちゃうんです。こわがってる子はもちろんですけど、ちよつとにやにやして見てくれるような子も、数秒するとやっぱりよそへいっちゃうんですよね。

だけどその子たちは動くようすもなく、こそこそしゃべりながらずっと見ててくれるんです。露出相手としては、そうそう出会うことができない大当たりでした。

見られているのを意識しながら、ときどきわざとビクビク勃起を持ち上げてみせたりすると、三人は小さく歓声をあげて喜んでくれたりもして。

そのときにはもう陽射しで身体はすっかり乾いてましたけど、ペニスの先端だけは先走りでぬるぬるにテカっていて、われながらいやらしい光景でしたね。亀頭から垂れたのが勃起の裏側に流れていくのを感じながら、こんなとこまで見てもらえるなんて、と歓喜に打ち震えていました。

続きは製品版でお楽しみください。